

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道2号 <small>まつなが</small> 松永道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局									
起終点	自： <small>ひろしま ふくやま かむらちよう</small> 広島県福山市神村町 至： <small>ひろしま おのみち たかすちよう</small> 広島県尾道市高須町			延長	7.1 km									
事業概要	<p>一般国道2号は大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p>松永道路は、交通混雑の緩和、交通安全性の向上、都市間の連携強化等を目的とした福山市神村町～尾道市高須町に至る延長7.1kmのバイパスで、山陽自動車道と西瀬戸自動車道を連絡する道路である。</p>													
S47年度事業化	S49年度都市計画決定 (H一年度変更)	S52年度用地着手	S53年度工事着手											
全体事業費	約581億円	事業進捗率	96%	供用済延長	4.6 km									
計画交通量	50,800～57,200台/日													
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C</td> <td style="width: 50%;">総費用</td> </tr> <tr> <td>(事業全体) 5.9</td> <td>(残事業)/(事業全体) 23/1,495億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 18.8</td> <td> 事業費：14/1,425億円 維持管理費：8.5/70億円 </td> </tr> </table>	B/C	総費用	(事業全体) 5.9	(残事業)/(事業全体) 23/1,495億円	(残事業) 18.8	事業費：14/1,425億円 維持管理費：8.5/70億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益</td> <td style="width: 50%;">基準年</td> </tr> <tr> <td>(残事業)/(事業全体) 426/8,856億円</td> <td>平成26年</td> </tr> <tr> <td> 走行時間短縮便益：394/7,532億円 走行経費減少便益：24/916億円 交通事故減少便益：7.8/409億円 </td> <td></td> </tr> </table>	総便益	基準年	(残事業)/(事業全体) 426/8,856億円	平成26年	走行時間短縮便益：394/7,532億円 走行経費減少便益：24/916億円 交通事故減少便益：7.8/409億円	
B/C	総費用													
(事業全体) 5.9	(残事業)/(事業全体) 23/1,495億円													
(残事業) 18.8	事業費：14/1,425億円 維持管理費：8.5/70億円													
総便益	基準年													
(残事業)/(事業全体) 426/8,856億円	平成26年													
走行時間短縮便益：394/7,532億円 走行経費減少便益：24/916億円 交通事故減少便益：7.8/409億円														
感度分析の結果	<p>【事業全体】交通量：B/C=5.2～6.5(交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=14.7～26.3(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=5.9～5.9(事業費±10%) 事業費：B/C=17.7～20.1(事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=5.9～6.0(事業期間±20%) 事業期間：B/C=18.4～19.3(事業期間±20%)</p>													
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【尾道線（12往復/日）、福山大学線（7往復/日）】 ・福山市から広島空港（第二種空港）へのアクセスが向上 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾道市から福山港（重要港湾）へのアクセスが向上 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡【福山市役所～尾道市役所】 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鞆の浦（H25年間観光入込客数196万人）など観光施設へのアクセスが向上 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県緊急輸送道路ネットワーク計画（平成25年6月）において緊急輸送道路に位置づけ有り <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる 													

関係する地方公共団体等の意見

松永道路は、福山市及び備後地区建設促進協議会より早期整備要望を受けている。

広島県知事の意見：継続とする対応方針については妥当である。

松永道路については、暫定2車線区間内の速度低下から発生する渋滞や、交通事故が集中しており、本来の目的である山陽自動車道や西瀬戸自動車道との連携強化による「都市間の連結や空港・港湾とのアクセス強化」などの効果が十分に発揮されていないと認識しています。したがって、事業費の増額についてはやむを得ないものと考えますが、引き続き、更なる事業費の精査を行いながら、最大限のコスト縮減に努めていただくとともに、公表されている平成28年度の全線供用に向け、確実に整備を進めていただきたい。

事業評価監視委員会の意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・段階的に整備しており、4車線区間から暫定2車線区間への車線減少部を先頭とした渋滞が発生している。

・平成26年度に中国横断自動車道尾道松江線が全線開通の予定。

事業の進捗状況、残事業の内容等

昭和47年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率96%（平成26年3月末時点）

平成2年度：今津ランプ～神村ランプ間 延長2.5km（2/4）部分開通

平成10年度：西瀬戸尾道IC～福山西JCT間 延長3.9km（4/4）部分開通

平成14年度：福山西JCT～今津ランプ間 延長0.7km（4/4）部分開通

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成28年度：全線4車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。